

# 平成31 / 令和元年度事業報告書

平成30年11月1日から令和元年10月31日まで

特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑

## 1 事業実施の成果

昨年度に引き続き3事業（介護保険法に基づく通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業、居宅介護支援事業。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業については未実施。）を実施した。

### ●通所介護事業・介護予防通所介護事業

月平均利用者数の6%減少（減少率は前年度比200%増）に対して、事業収入は5%の減少（減少率は前年度比50%減）で収まったことは、今後の事業運営における安心材料の1つとなった。これは、前年度収入減の一因であった介護報酬引き下げに伴う客単価減少の改善に向けて新たに加算を取得したことと、新規利用者数及び介護更新認定において重度の介護区分にシフトする（厳密には近年の認定審査が異常に厳しく、利用者さまの状態に対しての介護区分が軽度過ぎたことを踏まえ、適切な評価を下す傾向へ軌道修正されただけのこと）継続利用者数が前年度よりも増加したことによる影響と分析している。また、岡山市が全国に先駆けて実施している施策『通所介護サービスにおける質の評価に関する調査事業（デイサービス改善インセンティブ事業）』において【要介護者の状態像を特に維持・改善させた優良事業所】トップ10に選ばれるという快挙を果たし、岡山市長より表彰を受けるとともに、通所介護サービスの利用を検討している方やケアマネージャーへの紹介資料として、公共機関や市内関係各所の窓口にて配布されるパンフレットに大々的に掲載され、品質向上に対する当苑の弛まない努力を多くの方に知っていただく機会を得ることができた。一方、支出経費は7%も増加し、減収減益の事業運営に拍車を掛けてしまう結果になってしまった。支出経費が増えた主な要因は、働き方改革の実施により人件費が高騰したことである。職員の離職率低減を図るには、定期昇給や賞与・手当等の増額は必須でやむを得なかった反面、顔馴染みのスタッフが長期在籍することで利用者さまが安心して継続利用できる環境作りを進められたことはプラスだったと言える。また、前述した新規加算取得の根拠に必要な調査や書類作成といった新たな日常業務及び必要経費の発生も、要因の1つとして数えられるだろう。今後も【I.無駄な労務を抑制する業務フロー・組織構造の構築 II.給与・休暇取得率の向上等の待遇改善】については重点的に推し進めて参りたい。昨年度の報告同様、メインとなる利用者層の世代交替が進んでいる最中であり、本格的

な回復まで暫く時間を要すると思われる。ただ、前述した優良事業所として認定・紹介を受けたり、新規利用者数の増加といった良い兆候も顕れ始めており、次年度の後半頃には利用者数、収益及び客単価について、少しずつ改善されていくものと見込んでいる。今後、施設・什器備品の更新・修繕も徐々に進めていく必要があり、労働環境の改善も継続して行っていく以上、支出経費の増加傾向は依然続くものと捉え、より一層の経費削減に努め、健全な経営を行えるよう職員一丸になって励んでいきたい。

### ● 居宅介護支援事業

前年度と比較して事業収入は6%、平均利用者数は10人/月の増加であった。前年の事業報告に記載した『安定した事業運営を目指し、ハード・ソフトの両面で職員が働きやすい環境を整える』を実現すべく、ハード面では事務所を手狭になった賃貸物件から近隣のアクセスの良い立地に移転・新築、スペースレイアウトと収納量に拘って作業効率のアップを図り、ソフト面ではケアマネージャーを増員して、活動キャパシティの拡大と職員のストレス軽減を図った。受け持ち可能利用者数と業務遂行能力に余裕が生まれたことで、新規案件の受け入れ不能状態の解消及び職員の待遇改善（事務処理の効率アップ、残業の削減等）を無事行うことができた。ただ、支出経費は前述の事務所移転に係った諸々の費用や職員の処遇改善等でのコストがかさみ、前年度比20%の大幅な増加となってしまったうえ、次年度以降も償還等の発生により更に増えていく予想である。事業単体で採算を図ることは難しく、通所介護事業との二人三脚で収益の向上を狙っていきたい。医療機関や地域包括支援センターとの連携はとても良好であり、前者からは介護認定をまだ受けられていない在宅復帰希望の入院患者の紹介、後者からは諸般の事情にて担当から漏れてしまった在宅介護支援需要者の委託、それぞれの新規件数が順調に増えてきている。また、協議会や研修会等でポストを任される場面も増えてきており、地域に根差した活動が着実に実を結び始め、存在感が高まりつつあることは、非常に良い傾向だと考える。次年度も支出経費の増加で収益的には厳しいかもしれないが、前年度以上の収入・利用者数の増加を目標に事業を推進していきたい。

### ● 介護予防・日常生活支援総合事業

前年度と比較して事業収入は8%の減少となったものの、平均利用者数と支出経費はさほど変わらずと落ち着いた運営ができた。事業収入の減少は、前年度はゼロだった要支援1の方の利用が増えたことで、利用回数に関わらない包括利用料が適用される事業の為、単純に客単価が減少したことによるものである。通所介護事業のところで触れた【要介護者の状態像を特に維持・改善させた優良事業所】に選ばれた件とリンクするが、入院等を契機に介護者の状態像が悪化した方を除くと、当事業の利用者さま

で介護区分が重度化した方は無く、むしろ要介護→要支援、或いは要支援2→要支援1と軽い区分に更新認定された方が増え、事業名にもあるように【要介護状態に陥ることを予防し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、社会参加と身体機能・日常生活動作の維持改善を図る】ことに必要な支援ができた証であると言える。次年度も引き続き介護予防に資するよう努めていきたい。

● 地域生活支援事業

今年度は実施していません。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
介護保険法に基づく通所介護事業・介護予防通所介護事業	通所による介護機能訓練指導 食事提供 入浴介助	通期	岡山市東区 益野町	8名	要介護者 要支援者 419人/月	44,777
介護保険法に基づく居宅介護支援事業	介護支援事業 介護相談 ケアプラン作成	通期	岡山市東区 可知	4名	要介護者 要支援者 131.1人/月	20,616
介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業	通所による総合支援(介護予防) 機能訓練指導 食事提供 入浴介助	通期	岡山市東区 益野町	8名	要支援者 29.8人/月	3,445
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業	日中一時支援事業 創作的活動 機能訓練指導 食事提供 入浴介助	未実施	岡山市東区 益野町	0名	障害者 0人/月	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

様式例（法第28条第1項関係「前事業年度の計算書類（活動計算書）」①

平成31年／令和元年度 活動計算書  
平成30年11月1日から令和元年10月31日まで  
特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 事業収益		
通所介護事業収益	46,450,576	
居宅介護事業収益	21,446,425	
介護予防・日常生活支援総合事業収益	1,975,816	
地域生活支援事業収益	0	
		69,872,817
2. その他収益		
受取利息	24	
受取配当金	300	
雑収入	450,480	
		450,804
3. 特別利益		
貸倒引当金戻入益	68,900	
		68,900
経常収益計		70,392,521
II 経常費用		
1. 事業費		
通所介護事業		
(1) 人件費		
給料手当	25,154,341	
賞与手当	3,008,400	
法定福利費	4,700,715	
福利厚生費	676,360	
人件費計	33,539,816	
(2) その他経費		
車両費	1,772,306	
通信費	219,004	
水道光熱費	1,534,108	
事務用品費	498,484	
賃借料	771,600	
修繕費	77,248	
地代家賃	3,960,000	
食材費	2,142,580	
介護用品費	262,041	
その他経費計	11,237,371	
通所介護事業費計		44,777,187
居宅介護事業		
(1) 人件費		
給料手当	13,727,450	
賞与手当	1,700,000	
法定福利費	1,969,795	
福利厚生費	211,500	
人件費計	17,608,745	
(2) その他経費		
車両費	549,019	
通信費	465,924	
水道光熱費	148,902	
事務用品費	508,743	
賃借料	146,340	
地代家賃	950,000	
雑費	238,516	
その他経費計	3,007,444	
居宅介護事業費計		20,616,189
介護予防・日常生活支援総合事業		
(1) 人件費		
給料手当	2,187,334	
賞与手当	261,600	
法定福利費	408,758	
福利厚生費	50,909	
人件費計	2,908,601	
(2) その他経費		
車両費	154,114	
通信費	19,044	
水道光熱費	133,401	
事務用品費	43,346	
食材費	186,311	
その他経費計	536,216	
介護予防・日常生活支援総合事業費計		3,444,817

地域生活支援事業			
(1) 人件費			
給料手当	0		
賞与手当	0		
法定福利費	0		
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
車輛費	0		
通信費	0		
水道光熱費	0		
事務用品費	0		
食材費	0		
その他経費計	0		
地域生活支援事業費計		0	
事業費計		68,838,193	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	0		
役員賞与	0		
法定福利費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
広告宣伝費	47,000		
旅費交通費	14,420		
接待交際費	16,297		
租税公課	153,062		
消耗品費	533,023		
保険料	43,200		
減価償却費	878,702		
貸倒引当金繰入	71,900		
研修費	0		
諸会費	22,000		
教材費	78,285		
介護費	560,825		
調理委託費	48,000		
雑費	1,120,675		
支払利息	174,923		
その他経費計	3,762,312		
管理費計		3,762,312	
経常費用計			72,600,505
当期経常増減額			-2,207,984
税引前当期正味財産増減額			-2,207,984
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			-2,278,984
前期繰越正味財産額			-1,368,494
次期繰越正味財産額			-3,647,478

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

平成31年／令和元年度 貸借対照表

令和元年10月31日現在

特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑  
(単位：円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金	132,283	
普通預金	2,416,940	
売掛金	701,270	
未収入金	11,287,677	
前払費用	135,524	
保険積立金	465,000	
貸倒引当金	-71,900	
流動資産合計		15,066,794
2. 固定資産		
附属設備	4,471,501	
構築物	42,048	
車輛運搬具	2	
什器備品	243,646	
出資金	10,000	
敷金	0	
固定資産合計		4,767,197
資産合計		19,833,991
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
短期借入金	10,384,884	
未払金	300,000	
未払法人税等	71,000	
未払費用	4,673,600	
預り金	221,985	
流動負債合計		15,651,469
2. 固定負債		
長期借入金	7,830,000	
固定負債合計		7,830,000
負債合計		23,481,469
<b>III 正味財産の部</b>		
基本金		0
前期繰越正味財産減少額		-1,368,494
当期正味財産増減額		-2,278,984
正味財産合計		-3,647,478
負債及び正味財産合計		19,833,991

計算書類の注記

- 重要な会計方針  
この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。  
(1) 固定資産の減価償却方法  
有形固定資産・・・定率法  
(2) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 借入金の増減内訳 (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	7,450,000	5,000,000	4,620,000	7,830,000
短期借入金	7,554,603	6,663,961	3,833,680	10,384,884
役員借入金	0	0	0	0

3. 役員及びその近親者との取引の内容 (単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(貸借対照表)		
短期借入金	10,384,884	4,701,430

4. 固定資産の増減内訳 (単位：円) (単位：円)

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産						
附属設備	5,195,523	0	724,022	4,471,501	6,945,582	4,471,501
構築物	56,064	0	14,016	42,048	272,952	42,048
車輛運搬具	2	0	0	2	1,202,998	2
什器備品	384,310	0	140,664	243,646	4,495,695	243,646
投資その他の資産						
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
敷金	150,000	150,000	0	0	0	0
合計	5,795,899	150,000	878,702	4,767,197	12,917,227	4,767,197

## 平成31年／令和元年度 財産目録

令和元年10月31日現在

特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑  
(単位：円)

科目・摘要		金額	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	132,283	
普通預金	おかやま信金松新町支店	443,966	
普通預金	中国銀行	1,190,999	
普通預金	香川銀行	781,975	
売掛金	利用者負担分	701,270	
未収入金	岡山県国保連合会 他	11,287,677	
前払費用		135,524	
保険積立金	簡保	465,000	
貸倒引当金		-71,900	
流動資産合計			15,066,794
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
附属設備			
風呂工事		780,059	
風呂工事		720,930	
トイレ工事		319,231	
空調工事		336,770	
内装工事		396,089	
風除室工事		491,854	
改修工事		513,967	
キッチン工事		431,749	
風呂工事		480,852	
構築物	水タンクポンプ設置	42,048	
車輛運搬具		2	
什器備品			
机・椅子	5セット	23,374	
応接セット	2組	47,668	
リクライニング	5脚	85,642	
食堂テーブル		17,049	
座卓		21,404	
その他家具		48,509	
有形固定資産計		4,757,197	
(2) 投資その他の資産			
出資金	おかやま信金	10,000	
敷金	大森商事（居宅事務所分）	0	
投資その他の資産計		10,000	
固定資産合計			4,767,197
資産合計			19,833,991
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
短期借入金			
	西崎三郎	4,701,430	
	株式会社ニシザキ	5,539,493	
	松島モータース支払分	143,961	
未払金	車両購入費	300,000	
未払法人税等		71,000	
未払い費用	給料手当（10月分）、他	4,673,600	
預り金	源泉所得税	221,985	
流動負債合計			15,651,469
2. 固定負債			
長期借入金	香川銀行平井支店	7,830,000	
固定負債合計			7,830,000
負債合計			23,481,469
正味財産			-3,647,478

## 前事業年度の年間役員名簿

(平成30年11月1日から令和元年10月31日)

特定非営利活動法人 デイサービスセンター おかやま ままかり苑

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	理事長	西崎 晃輔	[REDACTED]	平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
2	副理事長	山本 賢治		平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
3	理事	矢野 順一		平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
4	同	西崎 文子		平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
5	同	窪園 貴士		平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
6	監事	岩満 賢次		平成30年11月1日～ 令和元年10月31日	報酬無し
7				年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

**【備考】**

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。